

津屋崎園グループホーム座々1階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	6	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営理念である『共生』を基本とし『楽しくなければ座々じゃない』をホーム理念に掲げ 毎日楽しい思い出作りをする 毎日 毎日美味しい食事を提供する 毎日健 康な日々を送ってもらう を目標にして 実践している。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	実際に理念を掲示し機会があるごとに話し合い、 管理者・職員が一体となって共通の目標を持つ て、その実践に取り組んでいる。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念にそって取り組んでいる事をお便りや冊子でお伝えしている。又、日々の実践を家族の面会時や施設見学、実習受け入れ、及びボランティアの受け入れ等を通して見て頂いている。運営推進会議を行い、地域の方にも理解してもらえるように取り組んでいる。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶を大切にしている。又、利用者を含めての気軽な会話ができるよう、努めている。野菜や花の差し入れや、野菜作りの方法などの助言を頂いている。	1	地域の交流の場として、お茶会を開く等提供出来ればと考えている。
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の小学校の運動会への参加等、行事に参加することで、地域の方々との交流を深められるよう努めている。ボランティアの方々を受け入れることで、この施設の情報を地域に発信して頂いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	認知症の専門施設として、認知症等の相談、助言を求められた場合などはケースに応じた対応を行っている。	1	毎年、9月には認知症啓発事業を行う事により、施設の情報を発信している。認知症サポーター養成研修にも積極的に参加している。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	3	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各職員が自己評価を記入し、ユニットごとにフロアリーダーと管理者がまとめている。前回、指摘のあった項目を話し合い、改善に努めている。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で得られた意見を参考に、施設内の状態で改善出来ること等がないか、検討している。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福津市との連携をとり、市主催の研修、催しごとに参加している。施設連絡協議会の開催など福津市との連携に取り組んでいる。また、不明な点などがあれば直接出向き指導を受けている。	1	今後も地域に貢献できるよう、福津市との連携を強化し、更なるサービスの質の向上に努めていきたい。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護の研修に参加し、研修報告を元に職員全体で制度を理解している。現在は該当する方は入居されていないが、過去には成年後見制度を活用されていた方がいた。	1	入居時や必要になった時に、本人・家族に説明やアドバイスを行なっている。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加した職員の研修発表により、虐待防止についての知識を深め、防止に努めている。	1	支援の中で、気付いた事があればその場で話し合うようにし、職員の意識を高めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づく運営	理念を 実践 する ため の 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、理解を得られた上で契約を結んでいる。不安や疑問を解消できるよう、その都度対応している。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常に利用者からの声や動き等によるサインを汲み取れるように心掛けている。苦情受付を設け些細な意見も聞くように努めている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、お便りと利用者の暮らしぶりが分かるような写真を添えて、送付している。お便りには担当がコメントを記入し、利用者の状況をお伝えしている。又、定期的に作成される冊子を配布している。面会時や特変時に状態を詳細に伝えている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱を設けている。又、寄せられた苦情については会議時に伝え、改善点を話し合い、それを運営に反映させている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年に1回、改善提案を提出したり、フロアリーダーが意見をまとめ、管理者に伝えている。又、月1回の会議にも話し合いの機会が設けられている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるように、必要に応じて人員の確保に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者に影響がでないよう、管理者、職員同士で連携し、フォローを行なっている。全職員で全入居者を把握できるように、行事は一階、二階の合同で行なうようにしている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	1	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	採用にあたって、性別や年齢等で排除はしていない。職員についても、個人を尊重している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	機会あるごとに人権を尊重し、敬いの気持ちで介護を行なうように指導している。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	随時、研修や講演会の案内を掲示し参加への自主性を尊重しつつ、法人内外の研修を受ける機会が設けられている。又、勤務調整を行い、働きながらトレーニングしていくことを積極的に支援している。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域内同業者との情報交換は時々行われているが、交流はあまり実行されていない。	1	相互訪問の活動の機会を増やしていきたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	フリートーク等での、話し合いの機会がある。又、職員互助会による花見、忘年会、及び旅行等が設けられている。時には個別のメンタルヘルスの機会を設けている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	年2回、自己評価の提出を行ない自己アピールが出来た場を設けている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	1	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者やケアマネージャーが主となり、それまでの本人の生活背景を考えながら、本人の意思を尊重できるよう、本人と話す機会を設けている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	これまでの経緯を詳しく聞き、本人のニーズに即した対応が出来る様に努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	状況に応じた支援が出来る様にアドバイスを行っている。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の性格やこれまでの生活背景を考慮し、徐々に馴染めるよう、家族と相談しながら工夫している。又、笑顔で寄り添い、安心して生活できるように配慮している。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)				自己評価6項目・外部評価1項目	1
係り2 継続これ 新たな関 係へのま での支 援の関 関	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一方向の関係ではなく、「共に生きる」という双方の関係で、支援するばかりではなく学ばせて頂くことも多く、利用者の笑顔で支えられることもある。利用者から学ぶ姿勢を忘れず、信頼関係を大切にしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の協力は利用者のためにも必要不可欠であり、本人を共に支え合う関係作りに努めている。本人の生活歴や生活背景を教えて頂いたり、一緒になって本人の望まれることを考え、行事に参加して頂く等、協力して頂いている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	それまでの生活背景、家族関係を知り、更に良い関係が築いていけるよう、時には調整役として支援している。	1	年に1回、家族会を開催しているが、本人と家族がより良い関係を築ける機会をさらに設けていきたい。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の協力を得ながら、傾聴する中で、大切にしてきた人物等を日々の生活の話題として取り入れたり、外出の際、馴染みのある所に寄ってみたりして、関係が途切れないようにしている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者間の相性を把握し、利用者同士の交流が深められるよう、調整役として支援している。又、席の配置を替える等工夫して、利用者同士の関わり合いを支えるように努めている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院先や他施設へ面会に行ったり、家族に連絡したりしている。退居された家族がボランティアに来て下さる機会もある。	0	
	その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	7
1 の 一 把 人 握 ひ と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		利用者の希望や意向をつかめるよう配慮して声掛けを行なっている。又、普段の会話の中から新しい情報を得たり、本人から直接聞き取れない場合は、本人の表情や様子からも意向の把握に努めている。	1	必要に応じて状態把握シートを作成しカンファレンスを開き、問題解決に努めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の協力を得て、センター方式の書類を記入して頂いている。又、直接お話を伺い、これまでの暮らしの把握に努めている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケース記録の記入及び申し送りにより、職員間で情報を共有しながら、暮らしの現状の把握に努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	1		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を利用し、本人・家族の意見をもとに、全職員がアイデアを出し合い、話し合っ て、より良い介護計画を作成している。	1	毎月全職員でケアカンファレンスを行い、問題解決に努めている。
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月モニタリングを行い、現状の把握に努めてい る。見直し以前に変化が生じた場合は、迅速に再 アセスメントを行い、本人・家族の意見をもとに 新たな計画に変更している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入 し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアプランに沿った支援の取り組 み・結果・気づきや工夫を毎日ケース記録に記入 している。その記録に目を通し、情報を共有し て、職員が連携を図って支援を行なっている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	し3 た多 機能 な支 援か	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多機能性を 活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に合わせ、外出や外食等希望に 添うように支援している。その他要望に応じて柔 軟に対応している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	5	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	避難訓練時、消防署の協力を得ている。又、傾聴ボランティアやカットボランティア・ハーモニカの演奏や銭太鼓・近隣の小学生との合同運動会等、地域資源を活用させて頂いている。	0	
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	実際の利用には至らないが、他機関との連絡調整は行っている。	1	他のサービスの利用を支援できるよう、関係機関のネットワークを活用していきたい。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センター主催の研修会や講座への参加や協力は行っている。	1	地域包括支援センターと協働できるよう、連携を図りたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に本人・家族の希望を伺い、かかりつけ医を決定している。基本受診は家族が行っているが、必要な方は、看護師が受診に付き添い、本人の状態を報告や相談・対応している。	1	利用者の状態により、家族と相談の上、適切な医療機関の受診が出来るように地域医療連携を図る。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて、家族とも話し合い、認知症の専門医の受診を支援している。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師へ連絡・相談・報告を行い、連携を図っている。医療連携体制をとっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	カンファレンスに参加し、利用者にとってより良い状況で早期退院ができるように医療機関と連携を図っている。面会等を行い、利用者の状態をケース記録に残す事で、全職員が情報を共有している。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人・家族の要望を伺い、今後の支援方針について主治医を含め話し合いを行なっている。重度化した利用者の家族とは協力体制を作っている。	1	ニーズに沿った形での終末期を迎えられるよう、支援体制を整え、全員で取組めるよう努めたい。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関と連携を図り、事業所でできる範囲での対応を行なっている。救急対応について、事前に看護師等に確認している。職員会議の時、心臓マッサージ等の勉強会を行っている。	1	今後に備えて、家族とは話し合いの回数を増やし、また職員は緊急時の対応に備えて更なる勉強会の場を増やしたい。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化による本人への負担をできるだけ軽減するため、ケア関係者での情報交換を行なっている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	10	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	9	
		52 外部 評価 23	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	尊敬の念を持って、丁寧な言葉を使うよう心掛けている。又、利用者の立場に立って考え、プライバシーが守られるよう気をつけている。個人情報の取り扱いにも気をつけている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	わかりやすい説明を行い、自分で意思決定ができるように支援している。又、意志が聞けない場合、利用者の立場になって考えるように努めている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り本人の意思を尊重し、その方のペースでその人らしい暮らしが出来るよう支援している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	身だしなみや、おしゃれにも気を遣って頂けるようさりげなく声掛けしたり、支援している。理容・美容はカットボランティアを利用させて頂いたり、希望により、望む店に行かれたり、美容室の方に出張して頂いたりしている。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備や片付けをなるべく一緒に行い、役割となる活動を提供している。又、食事を楽しんで頂けるよう、その方に合わせた食事形態をとったり、アレンジを行なっている。職員も利用者と一緒に食事をとっている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望む飲み物やおやつを家族と協力し、個別に提供している。その日の状況に合わせておやつ作りを一緒に行い、楽しんで頂いている。	1	飲酒は元日や、家族同伴時に楽しんで頂いている。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	必要によっては、排泄チェック表を使用し、本人の排泄パターンの把握に努めている。本人の尊厳を守れるようなケアを検討し、支援している。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の体調や希望に配慮し、入浴の声掛けを行なっている。清潔を保てるように、楽しく入浴できるように支援している。	1	入浴が出来ない方には清拭や部分浴をし、清潔の保持に努めている。菖蒲湯や柚湯などを用意し入って頂いている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活習慣や本人の状態を見て、休息の声掛けを行い、安心して休んで頂けるように環境整備を行い、支援している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	本人の好まれる活動、生活歴を把握し、本人の力を活かした役割がもてるように支援している。行事やレクリエーション、外出や散歩、歌、体操、裁縫、塗り絵等の活動を提供している。	1	めりはりのある生活が送れるように、支援して行きたい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分で管理可能な方は居室で所持され、買物をされている。管理が出来ない方はこちらで管理し買物に行った時などは、一緒に支払いをするようにしている。	0	
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	自由に中庭に出て草取りや日光浴をしたり、事業所の周りを職員と散歩したりしている。個人の気分や訴えに応じた支援を行なっている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と共に墓参りに行かれたり、買い物や外食等、本人の希望に出来るだけ添えるように支援している。	1	家族と一緒に日帰り旅行などを計画したいと思っている。(ぶどう狩りや柿狩りなど)
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	必要に応じて、電話の取り次ぎを行っている。手紙や葉書も本人の希望があれば、書くことができるように用意している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会については時間を制限せず、気軽に訪問して頂けるようにしている。居室やリビング・和室等自由に使えるようにしており、宿泊も自由にして頂けるように用意しており、食事も希望があれば一緒にとって頂けるようにしている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	5	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	禁止の対象となる行為については各自勉強し、日頃より話し合いもしている。職員間の連携を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員間の連携を図り、鍵をかけないケアに取り組んでいる。利用者の状態においては、やむおえず、一時的に施錠し、対応している。	1	本人が希望される場合は、リスクを説明し、家族にも了承を得た上で（同意書を作成）居室の施錠を行っている。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	安全配慮のために利用者の所在や様子を、職員同士で声を掛け合い把握している。夜間も状態に応じた細目な巡回を行っている。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみや爪切り・針等注意の必要な物品は、本人で使用・管理可能な方は、居室で管理して頂いている。ホームでは、保管場所を決め、必ず元に戻すよう管理を徹底している。使用する場合は職員が見守りを行っている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハット・事故報告書に記入し、全職員へ伝達し、事故防止・再発防止に努めている。各自で研修等に参加し、勉強している。	1	今後の発生防止のために、職員会議の時に事例を報告している。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や初期対応について勉強し、確認している。緊急時のマニュアルを作成し、目のつくところに用意している。	1	定期的な訓練をして、緊急時に備えたい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に避難訓練を行っている。近隣の方にも協力をお願いしている。	1	地域の人々の協力を得られるよう働きかけを継続していきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	日頃より家族にも状況を説明し、起こり得るリスクについて、事前に説明し、理解を頂いた上で対応を行っている。	1	今後も家族との情報提供を密に行って行きたい。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化を早期発見できるよう、日頃から利用者の様子を観察している。異常がみられる場合、バイタル測定を行い、申し送りを通して職員間の情報伝達を行い、看護師に報告している。対応後も利用者の状態観察を継続して行っている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表をもとに、薬の目的や副作用・用法や用量についての把握に努めている。服薬の変更があれば、看護師が説明・指示を出し、速やかに情報を共有している。介護スタッフも様子観察を行い、経過状況を看護師に伝えている。服薬時には、誤薬を防ぐため、声に出して確認し、確実に服薬されるまで見守りを行っている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘の予防のために、水分を多く摂って頂けるように工夫したり、身体を動かす等働きかけを行っている。便秘時には、腹部マッサージを行ったり、看護師・医師と相談し、薬の調整も行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声かけ、必要に応じた介助を行う。又、義歯は週に3回義歯洗浄剤を使用し、消毒を行っている。訪問歯科による口腔内チェックも行っている。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士が献立を作り、カロリー計算をしている。水分・食事チェック表を用い、摂取記録を行っている。必要な方には個別にチェック用紙に記入し、管理している。食べる量や早さをその方のペースでできるように支援している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	利用者・職員・家族等もうがい・手洗いを励行し、マニュアルに沿って予防に努めている。毎日、次亜塩素酸での消毒を行っている。冬季には、利用者、全職員はインフルエンザの予防接種を行っている。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	細やかな手洗いや、布巾や調理器具の消毒を行い、衛生管理に気を付けている。調理後2時間経過した料理は処分している。又、ほぼ1日ずつの食材の配達となり、賞味期限の確認をこまめに行っている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には花を飾り、玄関まわりにも草花を植えていて、明るく家庭的な雰囲気になっている。又、椅子を置き、広いスペースを確保して、出入りのしやすいよう気を付けている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感をあらかず装飾を行ったり、利用者と一緒に活けた花や写真を飾っている。家庭的で安心できる居心地のよい空間作りに努めている。時には音楽を流して、くつろいで頂いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室や食堂・廊下・玄関などにソファや椅子を置いている。自由にゆったり過ごせるような居場所づくりに努めている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	安全に配慮した上で、家族の協力を得ながら、使い慣れた家具や本人の好まれるものを置いている。本人が安心できる私的スペース作りをお手伝いしている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	臭いが発生しないよう、排泄後の換気には気を付けている。又、各所に温度計・湿度計を設置し、利用者の体調を配慮し調整を行うようにしている。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に配慮して、手すりの設置や段差の解消がされている。利用者の状況に合わせ、ポータブルトイレを活用したり、配置にも気をつけ、自立に向けた支援を行っている。	1	福祉用具や介護ベットなども取り入れていきたい。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人の状態に合わせた目印等で、わからないところはサポートしている。混乱や失敗があった場合や日々の表情の変化を察知し、ゆっくりと時間をかけ、自己決定ができるように支援している。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りや玄関先には草花が植えられ、気晴らしに外に出て、草花を見に行く等支援している。又、中庭で一緒に洗濯物を干したり、草取りをしたりと活動できるようになっている。畑に作物も植えており、苗植えや水やり・収穫等楽しんで頂いている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。